

地域環境活動には活動の案内役といえるファシリテーターや、様々な活動情報をつなぐコーディネーターの役割が大きく、その育成はタイの活動、活性化の鍵となる。5月に行われた第1回調査情報を元に、環境活動を実施中あるいは関心を寄せる人を対象に、地域環境活動が主体的かつ継続的に推進していくための、パートナーシップの重要なつなぎ手となる、ファシリテーター研修ワークショップを実施。19地域(パイロット事業の2地域を含む)からの参加を中心に、研修所にて2泊3日(8月24日～26日)で開催した。3日間の参加者は57名、1日のみの参加希望も含めると地域代表の他、環境教育機関、学校、NGO、環境関連企業等70名程の参加者があり、タイのさまざまな地域活動の主体的な広がりや環境課題解決に向けて、大きな役割を果たせる人材の育成に貢献できた。



Workshop



Sam chook



Klong Yan



Warinchamrap



Mr. Someya



1日目全員で



ポスターセッション



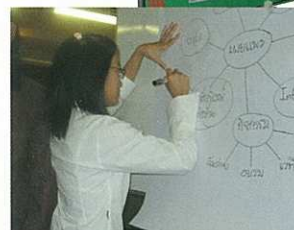
タイトヨタの報告



参加者質問



分科会C



分科会記録



分科会記録



分科会A



分科会B



2日目分科会C



分科会まとめ



質問に答える福田氏



ポスターセッション



Ms. Kizawa



Ms. Sakita

多様な参加者を混じえたワークショップ型研修は、地域活動と大学、自治体等立場や活動内容の違う人との連携やネットワーク化で得られる情報や広がりやの素晴らしさを、参加者が実感する機会となった。また、パートナーシップによる活動が必要ながら、地域環境活動の実施側にとって、企業の環境対策等を直接聞く機会はまだまだ少なく、タイトヨタ副工場長ワタチャイ氏の報告は、今後のパートナーシップの必要性を理解するきっかけとなるいい機会であった。元気大賞表彰制度をパートナーシップによるネットワークづくりの日本での事例として発表した。